

としょかん つか
図書館を使った

しら がくしゅう
調べる学習コンクール

しら がくしゅう
調べる学習の

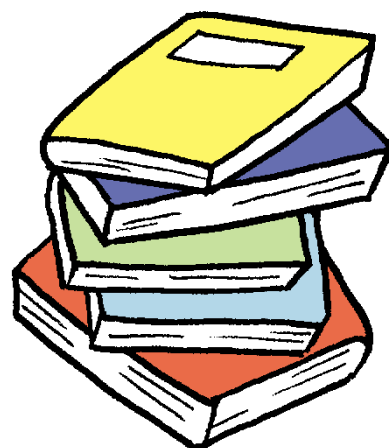
すす かた
進め方

しら がくしゅう 調べる学習のステップ

① しら ほうほう かんが
調べる方法を考える

② しら きろく
調べて記録しよう

③ さくひん
作品にまとめよう



ステップ① ^{しら}調べる方法^{ほうほう}を^{かんが}考える

^{としょかん}図書館で^{しら}調べる以外にも、いろいろな^{しら}調べ方^{かた}があります。

^{じぶん}自分が^し知りたいことを^{しら}調べるには、どんな方法^{ほうほう}があるのか、

^{かんが}考えてみましょう。

インターネットで^{しら}調べる

…まちがったじょうほうも

あるので大人^{おとな}の人^{ひと}と

^{しら}調べましょう。



^{かんさつ}観察する・^{じっけん}実験する

…自分の^{じぶん}予想^{よそう}と

くらべてみましょう。

くわしい人^{ひと}にインタビュー

してみる

…聞き^きに行く^い前^{まえ}に、

どんなことをしつ問^{もん}

したいかを^{かんが}考えて

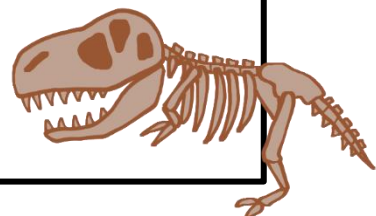
おきましょう。

^{はくぶつかん}博物館や^{りょうかん}資料館^いに行く

…本物^{ほんもの}や本物^{ほんもの}そっくり

につく^{つく}作られたもの^みを見ること

ができたりします。



いろいろな方法^{ほうほう}で確かめると、自分^{じぶん}が知りたいこと^しだけじゃなく、

あたら^{あた}新しい^{はっけん}発見もあるかもしれません。

ステップ② ^{しら}調べて^{きろく}記録しよう

^{しら}調べてわかったことやどうやって^{しら}調べたのかをノートに^か書いたり、
^{きろく}記録カードを^{つく}作ってみましょう。

^{さいご}最後に^{じぶん}自分が^{しら}調べたことをまとめるときに、とても^{やく}役に立ちます。

◎ノートや^{きろく}記録カードに^か書いておくこと

- ・いつ^{しら}調べたか（〇月〇日）※^{かんさつ}観察するときは^{じかん}時間・^{てんき}天気も^か書いておく
- ・調べたときに^{つか}使った本の^{ほん}タイトルや^か書いた人の^{ひと}名前^{なまえ}
- ・わかったこと・^き気づいたこと
- ・^{しら}調べに^い行った^{ばしょ}場所の^{なまえ}名前

記録カードの^{つく}作り方

調べたいこと	
わかったこと	^{しら} 調べた日：〇月〇日 ^ひ ^{がつ} ^{にち}
^{つか} 使った資料（本） ^{しりょう} ^{ほん}	^{ほん} 本の名前： ^{なまえ} ^か 書いてあったページ：

◎こんな^{きろく}記録の^{ほうほう}方法もあります

- ・イラストを^{かいて}記録する 
- ・^{しゃしん}写真をとっておく （^{ほか}他の人^{ひと}や^{ほか}他の人^{ひと}の^{もの}物^{とき}をとる時は、
^{かなら}必ず^{ひと}その人^{しゃしん}に^き写真を撮って^きいいかを聞きましょう。）

ステップ③ さくひん 作品にまとめよう

【ほうほう どんな方法でまとめる？】

○ノートやレポート用紙ようしを使う

ひょうし 表紙や もくじ 目次をつけて、ほん 本のようにまとめることができます。

○大きな紙おお（もぞう紙かみ・がよう紙しなど）を使う

1枚で調べたことをたくさん書くことができます。

ポスターや「○○新聞しんぶん」などを作ることができます。

⚠ B4 サイズまでか八つ切りサイズで作品さくひんを作ってください。

おお（大きさはおうちのひとひとといっしょにかくにんしてください）

【か 書いていく じゅんばん 順番】

最初 さいしょ	① しら 調べようと思 おも ったきっかけ ② しら 調べる前 まえ に考 かんが えたこと（ よそう 予想したこと） ③ しら 調べた方法 ほうほう
次 つぎ	④ しら 調べてわかったこと
終わ おわり り	⑤ よそう 予想とちがうところがありましたか？ ⑥ しら 調べた後 あと の感想 かんそう
完成 かんせい	⑦ しら 調べるときに使 つか った本 ほん などを最後 さいご のページに書 か きましょう。 （ さんこうぶん 「参考文献」といいます） ⑧ ひょうし 表紙に書 か くタイトルを決 き める ⑨ もくじ 目次を作 つく る（※本 ほん のように作品 さくひん を作 つく る人 ひと だけです） ⑩ おうぼカードを作品 さくひん にはる

【すてきな作品を作るには】

- ・イラストをかいたり写真をはる
- ・地図やグラフを書いてみる
- （文章で書くと長くなったり、わかりづらい時に使ってみましょう）
- ・自分が一番伝えたいところに線を引いたり、色を変えて強調させる。

【作品を作るときに注意すること】

- 本の中の文章をそのまま書くときは「 」(かぎカッコ)をつけましょう。
書いた人の文章をそのまま写して、自分が考えたように書いてはいけません。
- 「 」(かぎカッコ)をつけた文章を書くときは、どの本から書いたのかがわかるように「本の名前」「ページ」などをかならず最後に書きましょう。

保護者の方へ



※ 調べるときに使った本など(参考文献)の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concours.toshokan.or.jp/concours> の「参考・引用文献リストの書き方」を御覧ください。「参考・引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。

「調べる学習の進め方(中学年)」作成時に参考にした資料

- ・『調べるって、おもしろい!マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド』(岩崎書店)
公益財団法人図書館振興財団・監修、岩崎書店編集部・編著
- ※この資料は甲西図書館で所蔵しています(夏休み期間は館内閲覧のみ)